

平成28年度大型再処理施設放射能影響調査事業評価結果
(大型再処理施設放射能影響調査事業企画評価委員会)

調査事業名	総合評価
①環境影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
[委員長とりまとめコメント] 環境中の放射性同位体の移行調査や住民被ばく線量評価に係る研究が着実に進められており、計画に基づき遅滞なく進められ着実に成果が上がっている。今後は、非常に貴重な調査である安定同位体を用いた人体内代謝実験等、各々の研究の更なる深化を期待するとともに、使用済燃料ガラス固化体事業の再稼働を目前にしているため、引き続きしっかりとした調査を期待する。 また、これらの成果については、広報対象に応じた適切かつわかりやすく広報することを期待する。	
調査事業名	総合評価
②環境影響に関する調査研究 (公益財団法人日本海洋科学振興財団委託事業)	A
[委員長とりまとめコメント] 水温、塩分濃度などの物理・科学的な計測が継続して行われており、計画に基づき、評価モデルの精密化等、成果が上がっている。引き続き、モデルの検証、測定地点の最適化などが進められることを期待する。 また、これらの成果については、広報対象に応じた適切かつわかりやすく広報することを期待する。	
調査事業名	総合評価
③生物影響に関する調査研究 (公益財団法人環境科学技術研究所委託事業)	A
[委員長とりまとめコメント] 低線量の影響について、様々な生理学的エンドポイントで解析が計画に基づき進められている。このような調査は長期にわたる他に類を見ない貴重な研究であり、今後とも計画にのっとり着実に進めることを期待する。また、これらの成果については、県民、国民はもとより、国外に対しても積極的に発信することを期待する。	
調査事業名	総合評価
④小児がん等がん調査事業 (青森県健康福祉部所管事業)	A
[委員長とりまとめコメント] 平成12年からの長期にわたる地道なデータの蓄積により、大変貴重なデータが着実に蓄積されている。福島原発第一原子力発電所事故の調査との連携も含め、今後とも調査の継続を期待する。 これらの結果については、生存率の推移や治療方法などがん治療の実態、早期発見のための方策など、がんに関する総合的な広報を行うことにより、住民の安心に寄与できるものとする。	

(参 考)

評価の視点	評価の尺度
(1) 優れた研究成果が上がっているか? (2) 地域の期待に応えているか? (3) 社会的ニーズに合致した成果が挙げられているか?	S : 想定を上回る優れた成果を挙げている。 A : 中長期計画に基づき、着実に成果を挙げている。 B : 中長期計画どおりに成果を挙げているとは言えない面もあるが、今後の取組みにより中長期計画に基づく成果を達成し得ると考えられる。 C : 中長期計画に基づき成果を挙げるためには、実施方法等の大幅な見直しが必要である。